

令和7年度



河川・道路等愛護活動支援意見交換会（鹿児島地区）

九州地域づくり協会では、支援団体の方々の更なる活動の励みやモチベーションの向上に繋げていただくために、これまで令和4～6年の3年間、九州7県全体での「公益目的支援事業活動交流発表会」を開催してきました。

その中で、参加者の皆さんからの「もっと多様な意見が出せる仕組みが必要」「現地での現場視察や意見交換会がしたい」「人前で発表をするのは苦手」等のご意見を踏まえ、令和7年11月12日（水）、鹿児島地区において、地元支援団体とより身近に
対話ができる現地視察と意見交換会を開催しました。

当日は、鹿児島地区の支援団体9団体16名、市役所職員5名、九州地方整備局職員6名、協会関係者12名の計39名が参加し、今後の地域活性化につながる新たな取り組みの第一歩となりました。

現地視察



鹿児島維持出張所から活動場所まで移動

ほほをなでると
 幸せになれるよ！！



草牟田通り会が設置した
 「幸せ運ぶちゃびー像」



草牟田通り会 北野さんの説明を熱心に聞く皆さん

鹿児島維持出張所に集合した後、おもに国道3号沿いで活動をされている伊敷町通り会・草牟田通り会の2団体の代表者に、普段の活動の様子を説明していただきながら、きれいに手入れされた植栽の紹介、どのように工夫しながら活動を行っているか、活動をする上で困っていることなどをお話していただきました。



草牟田通り会 代表 北野さん

皆さんからは
 次々と質問が
 飛び交います！



伊敷町通り会 鶴田さんの説明に質問をする皆さん



伊敷町通り会の皆さんが手入れされた花壇

意見 交換会

現地視察の後には鹿児島県国道事務所へ移動し、「こんな事ができたら良いな」「こんな事にチャレンジしたい」をテーマに意見交換会を行いました。

3グループのワークショップ形式で行い、協会職員がファシリテーターを務め、支援団体の方々からは、日頃の活動に対する熱い思いや悩みなどの率直な意見を積極的に述べていただきました。

皆さんからの主なご意見

- 土づくりや肥料のやり方、花の植え時などの情報を提供して欲しい
- 年2回の花植えではプランターの花が途切れてしまうので、途切れないような花壇を作りたい
- 育てやすく長持ちする花を教えてほしい
- 「四季咲きなでしこ」は素晴らしい
- 排水溝に堆積した雑草の取り方を知りたい
- 地域で植える花をそろえ、統一感をもたせる取り組み中
- 他団体の活動を視察したい
- 高齢者や親子でプランターを管理して育てる活動をしたい
- 子供から老人まで集まって、種まき～育苗～花植えのサイクルを作りたい



支援団体の方々の「よい花を作りたい」「たくさんの人に見てもらいたい」「活動に参加してくれる仲間を増やしたい」などの真摯な思いや、熱意を持って道路愛護活動に取り組んでおられる姿に大変感銘を受けました。

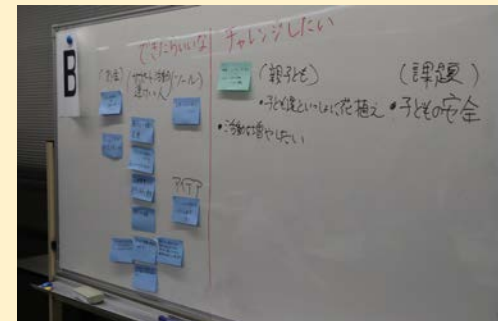
当協会として、今後も引き続き、各団体の活動現場において、活動団体の皆様方に対して、対面でのコミュニケーションをとり、皆様方の声に耳を傾け、皆様方が楽しく生き生きと活動し、喜んでいただけるようにサポートに努めたいと思います。



グループごとに意見を出し合います



意見交換会の様子を伺う玉川公益目的審議委員長



皆さんから出た意見



全体の様子